

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 1 国際農業交流協議会補助金(農政課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
廃止 ※現行どおり2票 手法等の見直し1票 廃止8票	・人件費の高騰や時代のニーズの変化により継続の難しさを感じる。 ・研修後帰国されると人材不足となり、継続確保が難しいと感じる。 ・農業面、国際交流について、一定の成果が出ている事は評価できると思う。	・ビザ円安などの問題により外国人就労者が減っている上に、不法滞在など法的な問題が出ているとの事、<u>現在の状態を続けるより一旦廃止をして、時期を新たに考える必要を感じる。</u> ・農業の人手不足を解消するため、外国人実習生の定着化(定住化)に向けて何が必要か検討すべきだ考える。明らかに今後、農業を支える人材は不足してくるため、目標の達成に向けて、外国人実習生の受け入れを幅広く進めて欲しい。 ・就農を定着させるためのシステムづくりが必要。改正入管法では転籍を認める等課題は多いため、実現可能な制度設計が必要。 ・<u>農業面での国際交流という役割を引き継いで、農家の方のニーズや研修生の働きやすさ等を含め、時代に沿った新たな制度の構築を進めていただきたい。</u>また、検討にあたっては、期限を設けて方向性を出して欲しい。 ・外国人研修生への手当て等、新しく他の制度が作れたら良いと思う。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
廃止	・本補助金は、農家の実習受け入れが指標の達成率が低く、時代に即したニーズに対応できていないことから、一旦、廃止とし、必要に応じて新たな制度を構築する必要があります。	・<u>本補助金は、指標として設定している実習生受入れ人数が目標値に及ばず、時代に即したニーズに対応できていないことから、一旦、令和6年度をもって廃止とします。</u>今後、必要に応じて新たな制度を構築する際には、<u>外国人実習生の定着化(定住化)や農業の担い手不足解消のため、農家の方のニーズ等を考慮して構築する必要があると考えております。</u>

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 2 稲発酵粗飼料普及促進事業補助金(農政課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※現行どおり11票	・この補助金により、飼料の価格も安価に供給できることから、畜産農家と米農家の経営安定に効果があると思う。 ・目標値の半分の成果ではあるが、補助金の目的や趣旨に鑑み、必要な事業である。	・<u>今後も安定供給できるよう、現行どおり進めていただきたい。</u> ・達成率の向上を図るべきであると考えてるので、ニーズ調査をしっかりと行って欲しい。 ・<u>現状供給過剰であるが、食用米の価格上昇、需要増に伴い、飼料米の供給が少なくなる可能性もあるので、現行どおり継続する中で、需給状況を注視していただきたい。</u> ・開始より16年が経過する中で、輸入価格の高騰等時代の変化に応じて、都度見直す必要がある。 ・酪農農家が減少する中で、後継者の育成も必要だと思う。 ・佐久市で先駆的に取り組んだことにより、改良が進み良質になっているとの事、WCSは牛に対してのみ利用は偏りがあると感じるが、農家の方の負担が軽減しているのなら今後も続けて欲しい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・稲発酵粗飼料は、輸入飼料より安価な飼料であるため畜産農家の経営安定を図れるように、現行どおり行っていきます。	・<u>現行どおり補助を継続していく中で、管内での供給は飽和状態となっているという意見をいただいていますので、生産量については、管内管外でのニーズを確認しながら、実施してまいります。</u> ・今後事業を継続していく中で、時代に即した見直しの機会とするため、終期を設定します。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 3 産地パワーアップ事業補助金(農政課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
手法等の 見直し ※現行どおり1票 手法等の見直し9票 縮小1票	・実績はないが、国の制度が継続する限り廃止できない。申請にあたって、ハードルの高い事業だと感じた。 ・意欲ある農業者が、パワーアップ出来る補助金は必要だと思う。ニーズを捉え、幅広く取り組む必要があると思う。	・農業の経営負担は様々な面で感じている。国からの補助金がある限り維持して欲しい。 ・交付実績が少ないことから、ニーズ調査を細かく行って欲しい。 ・<u>ニーズ調査をしていただき、収益性向上対策として、利用しやすい補助金になるよう手法等の見直しをしていただきたい。</u> ・今後の取組方針の記載にあるように、期限を定め見直しをして欲しい。 ・農協以外にも設備投資を行いたい事業者はいるはずなので、事業メニューや団体には個別に周知するよう取り組んでいただきたい。 ・比較的規模が大きい事業が対象のため、市と連携して取り組まざるを得ない。市がある程度は主導していく必要があるかと思う。 ・申請の少ない事業よりも、他の事業に注力した方が良いと考える。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
手法等の 見直し	・国の制度に基づく補助金であるため、国の制度が継続する限り継続していきます。 ・より多くの意欲ある農業者に利用していただけるよう周知を図ります。	・<u>現行どおり補助を継続していく中で、市の広報紙やホームページ、SNS等、様々な媒体により周知を図るとともに、ニーズ調査を行い、利用しやすい補助金となるよう取り組んでまいります。</u> ・上乗せ部分の在り方について、社会情勢を考慮しながら見直しを行っていきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 4 シャインマスカット等栽培実証試験補助金(農政課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
手法等の 見直し ※現行どおり1票 手法等の見直し11票	・この補助金によって、栽培実証試験が順調に進んでいると感じました。 ・ぶどうの大粒種が全国的にさらには海外でも人気なので栽培試験をすることに意味があると思います。 ・収益性が高いとされるぶどう品種の栽培実証試験のための制度であり、一定の効果が認められる。今後、事業のますますの取り組みが期待される。	・シャインマスカットはここ数年大変人気があり、今後にも期待できると思います。 ・今後の安定栽培に向けて、ニーズにあった補助メニューの見直しは必要だと思う。 ・産地化に向かって更なるPRをし取り組んで欲しい。 ・ブランド化できる様に佐久市内で広がって欲しい。 ・ハウス栽培のみではなく、広く事業者が使いやすいよう、見直しをお願いしたい。 ・佐久市産地化のための取組は順調であり産地化が見込まれる。補助内容の検討、見直しを図り更なる活用を推進して欲しい。 ・産地化の実現可能性と継続、中止等の判断が必要であるため終期設定は必要である。 ・需要があり世界的に供給されてくるため、競争優位に立つには難しい分野だと思う。試験結果を踏まえ深追いするのではなく、むしろプルーン(オータムキュート)といった独自性あるものの普及に努めたらどうか。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
手法等の 見直し	・収益性が高い大粒種ぶどう品種の栽培実証試験について、一定の効果が認められることから、産地化に向けて普及の取り組みができるよう手法を見直します。	・大粒種のぶどうがブランド化できる様に佐久市内で広がって欲しいというご意見をいただいておりますので、佐久市の新たな品目として産地化となるようにJAと連携して取り組み者の増加を図ります。また、新たな出荷農家を創出できるよう補助項目を設けて、市の広報紙やホームページ、SNS等、様々な媒体により本事業のPRを行い、周知を図ります。 ・ハウス栽培のみではなく広く事業者が使いやすいよう見直しのご意見をいただいておりますが、実証試験の事業を行っている中で凍霜害の被害があったことから、引き続き、雨よけ栽培を対象としながら見直しを行ってまいります。 ・現在多くの生産されているプルーン、リンゴ、モモ等の果樹について、特産物産地育成事業補助金で苗木購入補助を引き続き行い、普及を図ってまいります。 ・産地化の実現可能性と継続、中止等の判断が必要のため終期設定は必要であるというご意見をいただいておりますので、より良い成果が得られるよう、引き続き、終期を設定していきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 5 中小企業振興資金利子補給金(商工振興課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<u>現行どおり</u> ※現行どおり10票	・需要の高い補助金と感じる。 ・申請件数が多いことから必要性が感じられる。 ・空き店舗の活用、原油価格等経済状況に応じた補助メニュー等、実績から一定の効果が認められる。	・<u>毎年ニーズの見直しが行われている様なので、経済情勢を反映しながら現行どおり進めていただきたい。</u> ・経済効果が出ているため、引き続き継続していただきたい。 ・優良と認められる事業者への支援を今後も是非お願いしたい。 ・毎年度、終期を設定し見直しが図られているため、適切に運用されていると思う。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<u>現行どおり</u>	・これまでどおり、ニーズを踏まえた運用を図ります	・<u>毎年度、商工団体や金融機関等と意見交換を行い、社会情勢等に応じた制度設計を行います。</u>

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 6 中小企業退職金共済掛金補助金(商工振興課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※現行どおり11票	・福祉増進、雇用安定に寄与し、効果が認められる。 ・補助金利用が一定数ある為、今後も活用が見込まれる。	・周知の強化等でより多くの中小企業者が利用できるよう努めていただきたい。 ・将来の退職金を作るための補助金。有意義な取組ではあるが老後2,000万円問題の解消には至らないため、IDECOや新NISAなど国策の周知を合わせて行っていただきたい。 ・制度周知方法を確認し、利用率向上に努めて欲しい。 ・退職後の安定は大切ですので、中小企業就業者福祉増進、雇用安定効果が出ている限り、現行どおり、制度の普及努めて欲しい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・より多くの中小企業者に利用していただくため、周知を図ります。	・加入促進を図るため、市の広報紙やホームページ、SNS等、様々な媒体により本事業のPRを行います。 ・市内商工団体、金融機関、その他関係機関等と連携し、本事業を始め、国施策等の周知を図ります。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 7 商店街環境施設整備事業補助金(商工振興課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※拡充1票 現行どおり9票	・主に商店街が管理する設備の整備等に活用されており、一定の効果が認められる。 ・商店街の環境整備に適切に使用されていると思う。 ・佐久市にとって商店街の活性化は重要な事だと思う。大型ショッピングモールは目を引くが、地域の商店の重要性アピールが必要だと思う。	・<u>商店街の環境整備改善は急務である。商店街離れを防ぐためにも補助金を活用して魅力ある商店街にしていきたい。</u> ・商店街を形成していく上でも、老朽化により閉店することなく改善により継続されることは、大事な事である為更なる支援をして欲しい。 ・環境整備には効果が認められる。環境整備に補助したのみで終えず、誘客等何らかの効果測定、公表は必要だと考える。 ・今後も老朽化、駐車場整備等の状況把握に尽力願いたい。 ・商店街の整理によりにぎわいが出て市の活性化となり治安の安定にもなる。大手の商業施設とは別の魅力維持のためにも現行どおり継続して欲しい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・これまでどおり、商店街の環境施設整備のニーズに応じた運用を図ります	・それぞれの商店街のニーズや課題の把握に努めます。 ・<u>商店街のニーズに応じた環境整備を推進することで、誘客・にぎわいの創出につながるよう、制度の運用を図ります。</u>

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 8 経営・技術強化支援事業補助金(商工振興課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
手法等の 見直し ※手法等の見直し10票 廃止1票	・令和5年度の実績はないが、制度の趣旨は重要である。 ・申請がないということは、ニーズを捉え切れていないのではないかな。	・<u>利用しやすい補助金となるようニーズ調査に基づく、手法等の見直しを行っていただきたい。</u> ・企業ニーズをしっかりと把握するとともに、業界団体を通じて周知に努め、補助利用促進を図っていただきたい。 ・効果検証、見直しのための終期を設けることは良いと思う。周知方法にも見直しと効果検証が必要だと考える。 ・制度の周知を図りつつ、今後の方向性を検討していただきたい。 ・補助の必要性が少ないのであれば、他の事業に予算を振り向けてはどうか。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
手法等の 見直し	・申請件数を増加させるため、企業ニーズを把握に努め、制度内容、周知方法等を見直します。	・<u>産業支援機関等を通じて企業のニーズ把握や連携を図り、補助要件等の見直しを行います。</u> ・補助利用を促進するため、技能者養成のほか管理職や事務職のスキル向上事業でも対象になることなどの制度内容を、市の広報紙やホームページ、SNS等、様々な媒体による広報に努め、より多くの事業者にも周知できるよう、効果について検証を行います。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 9 自主防災組織防災資機材整備等事業補助金(危機管理課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※ 拡充2票 現行どおり12票	・佐久市の防災力を向上させるためにも有効な補助金だと思う。 ・過去の実績からも地域防災力の向上に寄与している。 ・他市町村より人数が少ない現状を考えると、佐久市としてまだまだ防災士が少ないため、防災士を増やしていくためにも補助金は必要である。 ・自主防災について市民全体の意識の向上に寄与している。	・今後南海トラフ等、佐久市でも大きな被害が予想されるため、防災士の補助金は、交付対象を個人に拡大して人数を増やし、個々の防災レベルの向上にも寄与する補助金になって欲しい。 ・交付対象を個人に拡大した場合でも、補助を受けて防災士になった方が区に登録する仕組みにすれば可能だと思う。防災組織の区での立場と防災活動での立場は、変わる可能性もあり、人数を増やしてから区と連携したほうが効率的だと思う。 ・市民の防災意識の醸成を図るためにも大変良いと考えるので、常に補助窓口を開けておいて欲しい。 ・広く防災士を知ってもらうため広報活動の方法を工夫していただきたい。防災士が増える取組に期待する。また、防災士の女性割合を増やすことも必要かと思う。 ・時代に即した見直しを図るための終期設定は妥当である。 ・防災士の役割として民生児童委員等のサポートに努めるとあるが、現実、区の防災士の方との連携は取れておらず、何か災害があってからでは遅いので心配している。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・防災士について広く皆様に知っていただくため、周知方法を工夫していきます。	・現行どおり補助を継続していく中で、補助金の交付対象については、個人へ拡大して人数を増やしてほしいとの意見をいただいておりますので、今後の防災士登録状況を踏まえ時代に即した内容となるよう検討していきます。 ・防災士について広く市民の皆様にご存知いただくことが、今後の課題と考えられるため、市ホームページや市公式SNSなどを活用して、資格試験日等の情報や補助金の交付について周知していきます。 ・防災士の地域における役割について理解を深めていただくため、市へ登録している防災士への学習会の開催や、民生児童委員の皆様へ資料の提供などを行うとともに、区において連携が図られるよう区長総会を通じて区長へ周知していきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 10 健康診査補助金(健康づくり推進課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
廃止 ※現行どおり1票 廃止13票	・補助金の役割が終ったという認識。 ・佐久市では、特定健診が無料で受診が可能であり、他の保健者においても安価で受診できるため現制度の必要性が低い。	・費用対効果の面等からも廃止は止むを得ない考える。 ・<u>佐久市では、本補助金の対象者の健診基本項目が無償化されているため、廃止で良いと思う。</u> ・時代の流れとともに、本補助金は役割は終えたのではないかと考える。 ・今まで補助を受けていた人達が困らないのであれば、特に不要ということで廃止で良いと思う。 ・市の無料の健診ではなく、こちらの制度を選択する人の理由を調べ、市の健診よりメリットがあるのであれば、その要素を市の健診に反映させないと、今まで使っていた人たちが、健診を受診しなくなってしまうことを危惧する。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
廃止	・市民の健診受診を促進し、健康増進に寄与してきたが、時代の流れとともに、特定健診受診者に対する支援は拡大してきており、本補助金は、役割を終えたと考えられることから、廃止とします。	・<u>市(保険者)の健診を推進していく目的のひとつとして位置づけられた事業ですが、特定健診受診者に対する支援は拡大してきていることから、この制度は今年度をもって廃止とします。</u> ・今まで申請されていた方が健診未受診とならないよう、健診の重要性や必要性についても機会をとらえ引き続き周知していきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 11 身体障害者福祉協会運営費補助金(福祉課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※拡充3票 現行どおり7票 手法等の見直し4票	・障がい者福祉に寄与していると認められる。自主財源増加に伴い、補助金の減額もなされている。 ・特定への団体への補助金交付にとどまっている。補助金対象者の見直しも必要ではないか。	・決まった団体への補助金から拡大して、申請型の他の福祉団体にも届く補助金になって欲しい。 ・複数の委員からの意見にあったように、交付団体を広げる努力が必要のように思う。社会の変化に合わせてニーズも変わってきており、新たな団体への支援をしていただきたい。については交付要綱第2条の変更が必要と考える。 ・補助金交付の目的を交付要綱に明記すべきではないか。 ・現状維持されたい。見直し等実施し、自主財源の確保等指導、助言をされたい。市補助金の使途については主に何に使用しているのか明示されたい。 ・補助金の交付の仕方について検討してほしい。例えば事業内容、障害サービスの市全体のバランス、ニーズと供給(サービス)とのバランスなどと連動させて決定する手法の導入が必要と考える。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・今後も団体と協議を進めながら、自主財源の確保や効率的な運営が行われるよう、適宜、指導・助言を行っていきます。	・新たな団体への補助につきましては、佐久市補助金交付基準の観点を踏まえ、適切に判断してまいります。 ・現行どおり補助を継続していく中で、自主財源の確保や効率的な運営が行われるよう、団体の財務状況や補助金の使途等の確認を行ない、協議を進めていきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 12 手をつなぐ育成会補助金(福祉課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※拡充3票 現行どおり9票 手法等の見直し2票	・知的障がい者の福祉に寄与されていると認められる。 ・特定への団体への補助金交付にとどまっている。 ・この名称なので対象が育成会になってしまいが、是非他団体にも交付できる様に検討いただきたい。	・決まった団体への補助金から拡大して、申請型の他の福祉団体にも届く補助金になって欲しい。 ・複数の委員からの意見にあったように、交付団体を広げる努力が必要のように思う。社会の変化に合わせてニーズも変わってきており、新たな団体への支援をしていただきたい。については交付要綱第2条の変更が必要と考える。 ・補助金交付の目的を交付要綱に明記すべきではないか。 ・現行どおり、適宜指導、助言等実施されたい。可能であれば、補助金使途を明示されると具体的でわかりやすい。 ・補助金の交付の仕方について検討してほしい。例えば事業内容、障害サービスの市全体のバランス、ニーズと供給(サービス)とのバランスなどと連動させて決定する手法の導入が必要と考える。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・今後も団体と協議を進めながら、自主財源の確保や効率的な運営が行われるよう、適宜、指導・助言を行っていきます。	・新たな団体への補助につきましては、佐久市補助金交付基準の観点を踏まえ、適切に判断してまいります。 ・現行どおり補助を継続していく中で、自主財源の確保や効率的な運営が行われるよう、団体の財務状況や補助金の使途等の確認を行ない、協議を進めていきます。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 13 佐久市敬老会補助金(高齢者福祉課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※現行どおり9票 手法等の見直し4票 縮小1票	・たくさんの方が楽しみにされている敬老会なので、今後もこの事業が継続するために必要な補助金だと思う。 ・達成率は増加している。一定の効果が認められる。 ・考え方に個人差があるので必要性を判断しにくい。	・終期の設定が必要。意見が出たように年齢を上げることも必要だと思う。今後しばらくは高齢者数は増えるため支出額は上がると思われる。 ・70歳以上としているが、75歳以上に年齢を引き上げ、段階的に継続することの是非を検討してはどうか。 ・年齢を70歳以上から引き上げて、一人当たりの補助額を上げてはどうか。 ・市民ニーズをより適切に捉えるため、終期を設け適宜見直しをされたい。 ・高齢者はますます増えその考え方も多様化している。今後、補助金がどのように使われており、どの程度必要とされているのか検討する必要がある。 ・高齢者の方で敬老会、いきいきサロン等へ参加される方、参加出来る方は、決まった方々が多く、1人でも多く参加できるよう努力をしている。見守りつつ、参加者増を目指したい。 ・補助額が大きいので、使われる用途が有意義であって欲しい。 ・物を配って敬老会の活動としている程度なら、使途の制限、支給年齢の引上げ等、縮小を考えても良いと思う。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・高齢者の生きがいに寄与するため事業は継続しつつ、必要に応じて制度の見直しを検討します。	・高齢者の生きがい対策に資するため、敬老会は必要な事業でありますことから、継続して実施したいと考えております。 ・事業を見直す機会とするため、終期を設定します。 ・対象者の見直しにつきましては、各区等の敬老会の実施状況や、他自治体の状況を確認するなどした上で検討したいと考えております。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 14 自転車用ヘルメット購入費補助金(生活環境課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり ※現行どおり14票	・目標を上回る実績があり、市民ニーズが高い補助金である。 ・着用率向上が低いことが課題である。 ・着用率が低いということで、補助金により着用率が上がると良いと思う。	・ヘルメット着用率を高めるためにも必要な補助金だと思われる。 ・着用率の向上を図るため継続されたい。 ・高校生等の着用率を高めるため、チラシ配布、広報活動を継続していただきたい。 ・県・市教育委員会を通して学校で学生に購入促進の為の指導は考えられないか。 ・高校生は髪型優先でヘルメットを避ける傾向。ヘルメットをかぶることがカッコいい(もしくはかぶらないことがカッコ悪い)と思わせないと着用しないを考える。警察や上部団体を動かして全国的な啓発活動が必要と思います。 ・ヘルメット着用の義務化を推進して欲しい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
現行どおり	・引き続き、ヘルメット着用率の向上のため、啓発方法等を工夫しながら、広報・啓発を実施していきます。	・警察にて高校生を対象に実施したヘルメット着用に関するアンケート結果等を踏まえ、対応を検討し啓発活動を実施していきます。回答の中で、「ヘルメットの置き場所がない」という意見があったことから、自転車にヘルメットを掛けるホルダーと盗難防止用のダイヤルロックを配布しヘルメット着用を呼びかけていきたいと考えています。

令和6年度補助金等外部評価

補助金等名称 : 15 土地改良事業推進補助金(耕地林務課)

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	補助金等の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
廃止 ※廃止14票	・市補助金交付基準に適合しておらず、見直さなければならない。 ・平成17年度より見直しがされておらず、市の交付基準にも適合していない。	・<u>佐久市補助金交付基準に適合しておらず、今後の方向性及び評価に対する意見の回答からも廃止が妥当である。</u> ・長年事務費に充てられていたのであれば返還してもらいたい。 ・基準に適合せず廃止とのことだが、必要に応じ形を変える形で再検討にも応じたらどうか。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
廃止	・佐久市補助金交付基準に適合していないため、評価結果のとおり、廃止します。	・本補助金の交付につきましては、交付先団体に問題点はないことから、返還については困難であると考えますが、<u>令和3年度から全庁的に取り組んでいる補助金等の見直しの中で、佐久市補助金交付基準に適合していないことが判明したため廃止します。</u> ・事務費に係る補助は廃止しますが、工事及び業務に係る補助は、引き続き継続していきます。